

市政の？を  
問いました

# 大綱質疑

12月定例会では、  
3会派が大綱質疑  
を行いました。

## 議第1号

### 友好都市提携について

**問** 中国重慶市の一地区である巴南区と友好都市提携する理由は何か。

**答** 大消費地で交通の結節点であることから三条製品の販路開拓の拠点となり、三条市の発展に寄与するものと考えた。

**問** 友好都市提携はどちらが言い出したのか。  
**答** 巴南区から申し入れがあったもの。

## 議第3号

### 三条市体育文化会館条例の制定について

**問** 一部のスポーツ関係者に体育文化会館という名称は理解できないとの声がある。関係者の意見は聞かなかったのか。ネーミングライツは検討したのか。

**答** スポーツだけでなく文化活動や交流の場の機能もあることから、ある一定の団体の意見は聞かなかった。趣旨を丁寧に説明し、理解いただけるようにしたい。ネーミングライツは行わない。  
**問** 「三条市体育文化会館」という名称はどのように決めたのか。  
**答** 庁内で検討し決定した。

## 議第8号

### 三条市榎の森斎苑の指定管理者の指定について

**問** 応募事業者が1社であったが、競争原理が働いていないのではないかと。

**答** 各施設の募集要項で業務の範囲や提供するサービスを明確にした上で、募集資格等を満たせば誰もが参入できるように定めており、公募した時点で大卒の競争原理が働いている。

## 議第16号

### 医療系高等教育機関施設建設建築本體工事請負契約の締結について

**問** 構造が木造のはずだったが鉄骨造に変更した理由は何か。また、入札時の図面と設計書に不備が多い。過去の随時監査において設計図書の不備は多い。

**問** 市民に親しまれる施設にするために愛称を公募してはどうか。  
**答** 利用目的を明確に表すことができる名称とした。三条市民に愛着のある旧体育文化センターの「たいぶん」の呼び名を残すことも念頭に決定したものであり、愛称を募集する予定はない。

## 議第16号と議第18号

### 医療系高等教育機関施設建設関係の工事請負契約について

**問** 実学系ものづくり大学、医療系高等教育機関、県立基幹病院の進捗状況はどうか。

**答** いずれもおおむね想定通りのスケジュールである。

## 議第21号

### 平成30年度三条市一般会計補正予算

**問** 市役所三条庁舎の第二庁舎は、耐震補強工事のための耐震強度調査を行わないのか。

**答** まずは利用者の多い高層棟と低層棟の耐震補強工事をしたい。ふるさと三条応援寄附金の返礼品は、国指導の上限3割を越えている。今後どう対応するのか。

**答** 国の議論や地方税法の改正を注視し、それに合った見直しをしていきたい。

**問** 庁内整備費について。耐震補強工事の概算やスケジュール、工事中の影響はどうか。

**答** 工費は4〜5億円と試算、財源は緊急防災・減災事業債を活用する。平成31年度内に実施設計を取りまとめ、平成32年度末の工事完了を目指す。想定している工法では市民の利用や執務に影響はないが、騒音等の影響がある作業については開庁時間外や休日を利用した施工で対応したい。

**問** これまで三条庁舎の耐震工事はできないと答弁していたが、今回着手する予算が付いた。どのような変化があったのか。

**答** 6月定例会後、庁内に検討チームを立ち上げ調査研究を進めてきた。その結果、高層棟も工事が可能と判断した。

## 議第22号

### 平成30年度三条市一般会計補正予算

**問** 小中学校エアコン設置に関して事業費の概算として8億3000万円、国からの交付金

が約1億7000万円、地方債が約6億5000万円、国からの交付税措置が約2億円と見込むと三条市の実質的な持ち出し額は約4億5000万円とのことだが、財政シミュレーションへの影響はどうか。  
**答** 国の財政支援は、交付金と交付税算入を合わせて事業費の約46%で、市の実質的な負担額は約4億5000万円である。財政負担への対応としては、中長期的な財政の見通しの中で毎年度の予算編成において各方面に目配りを行い、しっかりとコントロールを続けることで健全財政が維持できるものと考えている。

**問** 9月定例会で全教室にクーラーを設置する場合21億円必要と答弁している。予算の8億3000万円が全教室に設置可能なのか。三条市の負担が4億5000万円程度と事業費の55%にもなる。地元負担は約2割程度との認識だったが、内訳はどうか。  
**答** 21億円は普通教室と特別教室を含めた場合で今回は全普通教室に整備する。  
事業費で三条市の負担が大きいのは、国の補助単価が実工事に比べ低い。そのため、交付税措置がされない単独事業を含んでいるため。



## 会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊	阿部銀次郎	佐藤 和雄	森山 昭	武石 栄二	野寄 久雄	馬場 博文
新しい風	○杉井 旬	岡田 竜一	名古屋 豊	酒井 健	河原井拓也		
自民クラブ	○西川 重則	横山 一雄	佐藤 宗司	山田 富義			
日本共産党議員団	○小林 誠	西沢 慶一	坂井 良永				
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子					
無所属	長橋 一弘						

※○：会派の代表者